

事業者名称(事業者番号): 特別養護老人ホーム青芳(2570300372) TEL0749-72-8311

提供サービス名: 介護老人福祉施設

評価年月日: 令和2年 3月31日

## 評価結果整理表

### ○共通項目

<b>I 福祉サービスの基本方針と組織</b>		
<b>1 理念・基本方針</b>		
(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。 <span style="float: right;">着眼点の数</span>		
①	<b>a</b>	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。 <span style="float: right;">6 項目/6項目</span>
<b>総合評価・判断した理由等</b>		
青祥会のパンフレットやホームページ及び重要事項説明書に記載し、施設内に法人の理念・基本方針を掲示している。理念・基本方針は明文化されており、毎朝の朝礼時に唱和、会議にて職員への周知を行っている。		
<b>2 経営状況の把握</b>		
(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。 <span style="float: right;">着眼点の数</span>		
①	<b>a</b>	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 <span style="float: right;">4 項目/4項目</span>
②	<b>a</b>	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。 <span style="float: right;">4 項目/4項目</span>
<b>総合評価・判断した理由等</b>		
年度ごとの運営方針に基づき、サービス提供地域の動向や利用者ニーズを踏まえ、事業計画を策定している。サービスの利用動向の管理や目標の中間評価など、組織的に取り組んでいる。		
<b>3 事業計画の策定</b>		
(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。 <span style="float: right;">着眼点の数</span>		
①	<b>a</b>	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。 <span style="float: right;">4 項目/4項目</span>
②	<b>a</b>	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。 <span style="float: right;">4 項目/4項目</span>
(2) 事業計画が適切に策定されている。		
①	<b>a</b>	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。 <span style="float: right;">5 項目/5項目</span>
②	<b>b</b>	事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。 <span style="float: right;">1 項目/4項目</span>
<b>総合評価・判断した理由等</b>		
青祥会のパンフレットやホームページ及び重要事項説明書に記載し、施設内に法人の理念・基本方針を掲示している。理念・基本方針は明文化されており、毎朝の朝礼時に唱和、会議にて職員への周知を行っている。		

#### 4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。

着重点の数

①	b	福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	4 項目/4項目
②	a	評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	5 項目/5項目

#### 総合評価・判断した理由等

施設のサービス向上委員会で、自己評価の中間評価や分析を行い、それぞれの課題や改善点を共有し、サービスの質の向上に取り組んでいる。その他、入浴、排せつの委員会を設けサービスの質の向上を話し合っている。

## II 組織の運営管理

### 1 管理者の責任とリーダーシップ

(1) 管理者の責任が明確にされている。

着重点の数

①	a	管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	4 項目/4項目
②	a	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	4 項目/4項目

(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。

①	a	福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	4 項目/5項目
②	a	経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	4 項目/4項目

#### 総合評価・判断した理由等

管理者は責任の所在と役割分担について、組織図や事務分掌で明らかにしている。また、法令遵守の意識強化を働きかけ、理念や基本方針の確認、職員倫理と法令遵守の必要性についての研修会を実施している。

### 2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

着重点の数

①	a	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	4 項目/4項目
②	a	総合的な人事管理が行われている。	6 項目/6項目

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

①	a	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	8 項目/8項目
---	---	------------------------------------	----------

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	a	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	5 項目/5項目
②	a	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	5 項目/5項目
③	a	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	5 項目/5項目

(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	b	実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	4 項目/5項目
---	---	---	----------

**総合評価・判断した理由等**

年間を通して研修を行えるように研修内容を計画し、取り組んでいる。また法人内研修や外部の研修への積極的に参加ができるように取り組んでいる。  
自己評価に対しての面接も行っており、今後の人材育成制度の構築、職員の質の向上に努めている。

**3 運営の透明性の確保**

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

着眼点の数

①	<b>a</b>	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	5 項目/5項目
②	<b>a</b>	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	6 項目/6項目

**総合評価・判断した理由等**

ホームページ等にて情報公開をしている。第三者委員会を設置し、苦情・相談の対応、公開をしている。

**4 地域との交流、地域貢献**

(1) 地域との関係が適切に確保されている。

着眼点の数

①	<b>b</b>	利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	4 項目/5項目
②	<b>a</b>	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	5 項目/5項目
(2) 関係機関との連携が確保されている。			
①	<b>b</b>	福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	4 項目/5項目
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。			
①	<b>a</b>	福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	5 項目/5項目
②	<b>b</b>	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	5 項目/6項目

**総合評価・判断した理由等**

ボランティアマニュアルに沿って積極的に受け入れを行い、地域との交流が図れるように取り組んでいる。  
地域へ向けた、出前講座を行い福祉向上に努めている。

**Ⅲ 適切な福祉サービスの実施**

**1 利用者本位の福祉サービス**

(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。

着眼点の数

①	<b>a</b>	利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	5 項目/5項目
②	<b>a</b>	利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	7 項目/7項目
(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。			
①	<b>a</b>	利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	5 項目/5項目
②	<b>b</b>	福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	4 項目/5項目
③	<b>a</b>	福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	4 項目/4項目

(3) 利用者満足の上昇に努めている。

①	a	利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	5 項目/5項目
---	---	---------------------------------	----------

(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	b	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	6 項目/7項目
②	a	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	3 項目/3項目
③	a	利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	6 項目/6項目

(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

①	a	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	6 項目/6項目
②	a	感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	6 項目/6項目
③	a	災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	5 項目/5項目

**総合評価・判断した理由等**

サービス担当者会議等で利用者や家族の要望・満足度の確認を行い、必要に応じてサービス内容の検討を行っている。また、感染症対策や災害対策についての研修を行い、マニュアルに沿った対応ができるようにしている。

**2 福祉サービスの質の確保**

(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。

着眼点の数

①	a	提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	4 項目/4項目
②	a	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	4 項目/4項目

(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。

①	a	アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。	7 項目/7項目
②	a	定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	4 項目/4項目

(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。

①	a	利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	6 項目/6項目
②	a	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	6 項目/6項目

**総合評価・判断した理由等**

アセスメントを行い、個々に応じた介護計画書を作成し、計画書に沿ったサービス内容の提供をしている。定期的に介護計画書の見直しを実施をしている。情報については、多職種との連携を図りながら共有している。

## ○内容評価項目

A-1 生活支援の基本と権利擁護		
(1)生活支援の基本		着眼点の数
①	<b>b</b> 利用者一人ひとりに応じた一日の過ごし方ができるよう工夫している。	7 項目/8項目
②	<b>a</b> 利用者一人ひとりに応じたコミュニケーションを行っている。	7 項目/7項目
(2)権利擁護		
①	<b>a</b> 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	6 項目/6項目
<b>総合評価・判断した理由等</b>		
利用者の意向の把握を行い、個々に応じたサービスの提供・支援ができるように努めている。利用者への適切な接遇を実施し、利用者の意向が引き出せるような関わりに取り組んでいる。		
A-2 環境の整備		
(1)利用者の快適性への配慮		着眼点の数
①	<b>a</b> 福祉施設・事業所の環境について、利用者の快適性に配慮している。	4 項目/4項目
<b>総合評価・判断した理由等</b>		
音・光・におい・室温等の環境に配慮し、過ごしやすい環境への配慮を行っている。くつろぎやすい空間づくりでソファや畳スペースの設置し利用者の希望に沿った過ごし方を提供できるように取り組んでいる。		
A-3 生活支援		
(1)利用者の状況に応じた支援		着眼点の数
①	<b>a</b> 入浴支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	11 項目/11項目
②	<b>a</b> 排せつの支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	9 項目/9項目
③	<b>a</b> 移動支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	7 項目/7項目
(2)食生活		
①	<b>a</b> 食事をおいしく食べられるよう工夫している。	4 項目/4項目
②	<b>a</b> 食事の提供、支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	8 項目/8項目
②	<b>b</b> 利用者の状況に応じた口腔ケアを行っている。	4 項目/6項目
(3)褥瘡発生予防・ケア		
①	<b>a</b> 褥瘡の発生予防・ケアを行っている。	6 項目/6項目
(4)介護職員等による喀痰吸引・経管栄養		
①	<b>b</b> 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養を実施するための体制を確立し、取組を行っている。	3 項目/5項目
(5)機能訓練、介護予防		
①	<b>a</b> 利用者の心身の状況に合わせ機能訓練や介護予防活動を行っている。	5 項目/5項目

(6) 認知症ケア			
①	a	認知症の状態に配慮したケアを行っている。	7 項目/7項目
(7) 急変時の対応			
①	a	利用者の体調変化時に、迅速に対応するための手順を確立し、取組を行っている。	6 項目/6項目
(8) 終末期の対応			
①	a	利用者が終末期を迎えた場合の対応の手順を確立し、取組を行っている。	6 項目/6項目

**総合評価・判断した理由等**

利用者の心身の状況をアセスメントし、自立支援に向けた関わりができるように心がけている。看護職員や管理栄養士等の他職種との連携を図り専門職の助言を取り入れながらケアの実施をしている。

**A-4 家族等との連携**

(1) 家族等との連携			着眼点の数
①	a	利用者の家族等との連携と支援を適切に行っている。	5 項目/5項目

**総合評価・判断した理由等**

家族会を年1回実施している。担当者会議等でサービスの説明・要望を確認するように努めている。家族との相談内容について記録に残せている。行事についてポスターや広報誌・手紙による案内を行っている。

**利用者の要介護状態の改善のためのサービス評価基準(滋賀県独自項目)**

1. プロセス(過程)の評価			着眼点の数
①	a	運動器の機能向上に資する取組を計画的・組織的に行っている。	7 項目/8項目
②	a	日常的な介護サービスにおいて要介護状態の改善に資する取組を行っている。	8 項目/8項目
②	b	要介護状態の改善に資する生活環境等の整備の取組を行っている。	5 項目/8項目

**総合評価・判断した理由等**

法人内で連携を図り、機能訓練に対する実践的な研修を行い要介護状態の改善に努めている。

事業者名称(事業者番号):特別養護老人ホーム青芳(2570300372)TEL0749-72-8311

提供サービス名:介護老人福祉施設

評価年月日:令和2年3月31日

★サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、達成度評価

評価年月日:令和 2年3月31日

前回評価年月日:平成 31年3月31日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月 ～○年○月ま で)	改善に向けた具体的 な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先順位	内 容				
Ⅱ-3-(1)- ③	1	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行する。	H31.4～ R2.3	ヒヤリハット報告を活用して誤薬事故を未然に防ぐ対策を検討し、実施していく。	ヒヤリハットの活用にて、早期に対応方法を検討することができた。	
A-5-①	2	認知症の状態に配慮したケアを行う。	H31.4～ R2.3	認知症ケア等について知識・情報を得られるよう研修を実施、周辺症状に対し、症状に合わせたケアや生活上の配慮を行っていく。	研修による知識対応力の向上に努めながら、困難事例には適宜、カンファレンスを設け検討を行えた。	
Ⅱ-2-(3)-②	3	職員に対して組織としての教育・研修計画が策定された計画に基づいて具体的な取り組みを行う。	H31.4～ R2.3	新人研修を充実させ計画を明確にし、同じ方向性での教育指導ができる配慮を行っていく。又、施設内研修を充実させる。	プリセプター方式の活用にて新人職員の育成に努めた。また、施設内の研修ではサブリーダー以上の職員が講師となり進めることができた。	

事業者名称(事業者番号): 特別養護老人ホーム青芳(2570300372) TEL0749-72-8311

提供サービス名: 介護老人福祉施設

評価年月日: 令和2年 3月31日

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、達成度評価の計画

評価年月日: R2年 3月 31日

前回評価年月日: 年 月

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月 ~○年○月まで)	改善に向けた具体的な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先順位	内容				
Ⅲ-1-(5)-①	①	安心安全な福祉サービスの提供を目的とする、リスクマネジメント体制を構築していく。	R2.4~R3.3	事故発生時の対応方法(マニュアルの周知)を基にヒヤリハット報告を活用して、重大事故を未然に防ぐ対策を検討し実施していく。		R3.3
A-1-(1)-②	②	利用者一人ひとりに応じたコミュニケーションを行っていく。	R2.4~R3.3	接遇力の向上に向けた研修の充実と日頃からコミュニケーションに関して向き合える職場環境を構築していく。		R3.3
A-3-(2)-②	③	利用者の心身の状況を適切に把握し、栄養面に配慮した食事ケアを提供していく。	R2.4~R3.3	担当職員を中心とし有力なカンファレンスの実施を行う。その為に日頃からの観察を記録に残していく。		R3.3